

徳島県地域公共交通計画 骨子（案）

1 はじめに

- 計画策定の趣旨及び位置付け
- 計画の区域、期間

2 地域の現状等

- 地域の特性（人口分布、高齢化状況など）
- 地理特性、社会状況・経済状況など
- 交通モードの構成整理

3 上位・関連計画の整理

- 行動計画、総合戦略、次世代地域公共交通ビジョンとの関連性

4 公共交通の現状等

- 移動手段の現状
- 公共交通の利用実態・ニーズ
- 幹線バスに接続する交通モードの種類、運行回数等

5 公共交通の役割と課題

- 交通事業者の役割、課題

6 基本的な方針

- 公共交通の最適化、利便性の向上、利用促進

7 計画の目標

- 徳島ならではの公共交通ネットワークの実現

8 目標達成のための施策・事業等

(1) 公共交通の最適化

① モーダルミックスの推進

- ・ 幹線バスの路線再編
- ・ パターンダイヤ導入に合わせたダイヤ改正

② 新たな運行形態の導入

- ・ 幹線バスの路線再編に合わせた新たな運行形態導入の検討

(2) 利便性の向上

③ つなぐ仕組みの構築

- ・ 徳島県版MaaSの導入検討
- ・ キャッシュレス決済の導入検討

④ 交通結節点の環境整備

- ・ バス停や時刻表の多言語表記化
- ・ 駅やバス停におけるパークアンドライドの推進

(3) 利用促進

⑤ 新たな需要の創出

- ・ 鉄道と高速バスの共通乗車券の導入検討
- ・ 鉄道やバスなど異なる交通機関で利用できるフリー乗車券の導入

⑥ 地域で支える意識の醸成

- ・ 利用啓発イベントの開催

(4) 調整組織

- ・ 地域別分科会（エリア別ワーキング部会など）の開催

9 計画の達成状況の評価等

○標準指標（必須）

- ・ 幹線系統バスの利用者数、収支、公的資金投入額

○推奨指標

- ・ 利用頻度、利用率、平均乗車密度、満足度、認知度
- ・ 駅・停留所施設、運行情報等の多言語化
- ・ 地域間の移動者数
- ・ 接続しているフィーダー系統の便数、接続率

○選択指標

- ・ 観光地最寄りのバス停の乗降者数
- ・ 鉄道、高速バス等との接続便数、平均待ち時間

○毎年度、定量的な基準で評価